

校長 村井 浩昭

コロナ禍の状況下で規模の縮小を余儀なくされましたが、この4月に新入生116名を迎え入れ、無事入学式を挙行することができました。少子化の影響で生徒数減少を心配しておりましたが、新入生が例年よりも多く本校を志望してくれたおかげで、昨年度よりも全校生徒数が16名増加し、令和4年度は全校生徒318名、4年ぶりに各学年4クラス、全校で12クラスでのスタートとなりました。教職員数は現在61名で、総勢379名で学校生活を送っております。生徒たちの青春を謳歌する息吹とコロナ終息に期待する気持ちを受けて、校庭の樹々の緑をわさわさと揺らしているように感じます。

PTA会員の皆様には、日頃から本校の教育活動推進に多大な御理解と御協力及び深い御支援を賜り、心から感謝申し上げます。また、4月8日に行われましたPTA総会におきまして、すべての議案について御承認をいただき、令和4年度PTA活動が第一学期の始業とともに正式に始まりましたこと、お喜び申し上げます。森山しげる新会長を中心に新体制が発足したわけですが、今年度こそはコロナ禍で停滞した活動が少しずつよい状況に戻り、正常な活動ができますことを願います。また、前会長高山久詞様はじめ旧役員の皆様におかれましては、多方面で御尽力いただき、たいへんお世話になりました。厚くお礼申し上げます。

今年度は、新制服が導入され、性別に関係なくスラックスも選択できるようになりました。4月からお目見えしたブレザーとチェック柄のボトムスとのセットアップや夏用のマリンブルーとネイビーのポロシャツは周囲に爽やかな印象を与え、好評を博しています。第76回愛媛県高等学校総合体育大会には地区予選を勝ち抜いた総勢88名が出場し、四国大会には弓道部、陸上競技部、水泳競技の3名が出場しました。集会や学校行事は、オンラインでの実施も多いのですが、防災退避訓練や交通安全講話、非行防止教室など対面での行事も増えています。ものづくりコンテスト木材加工部門では、愛媛県大会、四国大会ともに、一位二位を独占し、二人ともが全国大会への出場権を獲得しました。令和元年度以来止まっていた本館に掲げている全国大会への出場を称える看板が追加されることになりました。未来に向けてのステップアップが始まっている感覚を覚えます。

さて、本校では、今年度の重点努力目標を「情理を尽くし、自ら考え、行動する生徒を育成する～精神を修め、知と技を練る吉田高校～」と決めました。「精神を修め、知と技を練る吉田高校」は、校歌の二番の歌詞に由来するもので何年も前から本校の校是として掲げられております。私の教育理念に「情理一体の教育」という考えがあります。人には、情的感受性と理的感受性があります。情的感受性というのは、感情や情緒といった心の部分が揺さぶられることで、理的感受性は、整理や理屈といった筋道を立てて考える部分いわゆる知的好奇心が揺さぶられることです。すなわち、精神を修め＝情的感受性、知と技を練る＝理的感受性と考えることができ、「情理を尽くす」という表現に至りました。これは、当事者、相手の気持ちを汲み取りながら同時に道理にかなうようにするという意味です。お互いを尊重し、慮りながら、主体的に学習に取り組み、進路実現につなげていくという意味の重点努力目標となっています。

また、生徒は、社会状況や環境のめまぐるしい変化の中、将来直面する答えのない問題の解決に向けて対応できる資質・能力を身に付けなければなりません。そこで、今年度から、育みたい資質・能力として、思考力・創造力・社会性・主体性・規範意識・人権意識を掲げました。「育む」ということは、その資質・能力に広がりを持たせるということです。生徒の潜在能力を授業、学校行事、部活動などあらゆる場面で引き出し、将来に向かう足掛かりにしてほしいと考えています。

私たち教職員は、生徒が3年間という時間をかけて経験を積み、学び得た力を将来どのように活用していくかを考え、未来へつなげる生きる力を育むことができるよう、指導・支援に努めてまいります。PTA会員の皆様と連携を密にして、抱く思いを共有し、生徒とともに学ぶという姿勢で取り組んでまいりますので、今後ともよろしく願いいたします。